

ばらんす

第51号

編集発行

大田原市総合政策部
政策推進課 市民協働係
〒324-8641大田原市本町1丁目4番1号
☎ 0287-23-8715
FAX 0287-23-8748
mail seisakusuishin@city.ohtawara.tochigi.jp

あなたのなかにもまだある!?



ジェンダー・バイアス ※ チェックテスト

下記の項目で、「そう思う」場合はチェックを付けてください。

- 1. 女性は育児・家事の役割もあるため、パートタイムで働いた方がよい
- 2. 男性が活躍できる場は職場、女性が活躍できる場は家庭である
- 3. 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい
- 4. 女性は家事育児と両立するのであれば、責任の重い仕事をしない方がよい
- 5. 結婚生活の重要事項は、世帯主の男性が決めるほうがよい
- 6. 経済的に不自由でなければ、女性は働かなくてもよい
- 7. 女性は結婚できなくなるので、男性に比べて社会的地位の高い仕事に就かないほうがよい
- 8. 男性に比べて、女性は自立の意識をもって地位向上をめざすのは難しい
- 9. 男性に比べて、女性が社会に出て働くことは進歩・発展にはつながらない
- 10. 女性が、男性と同様に昇格・昇給できることは難しい

※ジェンダー・バイアス……社会で作られた「男らしさ」「女らしさ」という固定概念や偏見

最後のページもご覧ください

ジェンダー平等教育導入への提言 男女共同参画社会を実現するために



国際医療福祉大学大学院 助産学分野 教授 鈴木 由美

ジェンダーについて

ジェンダーという言葉をご存じだろうか。カタカナというだけで、抵抗がある人たちもいるかもしれない。性の在り方を示すセクシユアリティには、生物学的な性差であるセックスと社会学的な性差としてのジェンダーがある。ジェンダーとは、社会が作り上げた「女らしさ」「男らしさ」である(図1)。

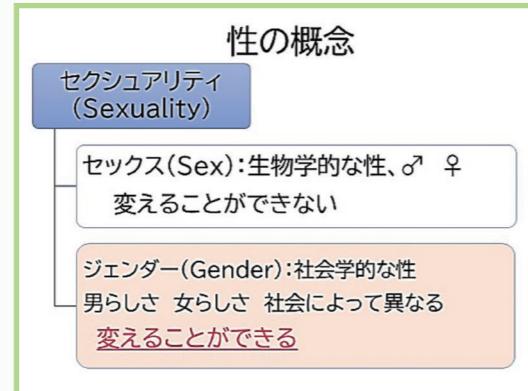


図1 性の概念 セクシユアリティ

SDGsにみるジェンダー不平等

最近ではSDGs(持続可能な開発目標)17の目標のうちの5番目に「ジェンダー平等を実現しよう」とある。日本では2021年のジェンダーギャップ指数(男女不平等の度合いを指数化:女性÷男性)が156か国中、120位である。ジェンダーギャップ指数(GGI)の4つの分野「経済参画」「教育の到達度」「健康」「政治参画」で、特に政治は0.061、147位である(図2)。

これは国会中継など、女性に意見力や存在感がない「男社会」の光景が裏付けになるであろう。G7各国の中で日本は最低である(図3)。

この背景にジェンダーによる偏見があるといわれている。特に女性の非婚率が上昇している背景には、結婚、出産をすることがその後のキャリア形成の足かせになるからである。また両立するなら「女性は育児・家事を優先すべき」というジェンダーの偏見があるためか勤労女性の家事育児労働時間は、男性の6倍以上であるといわれている。



図2 日本のジェンダーギャップ指数

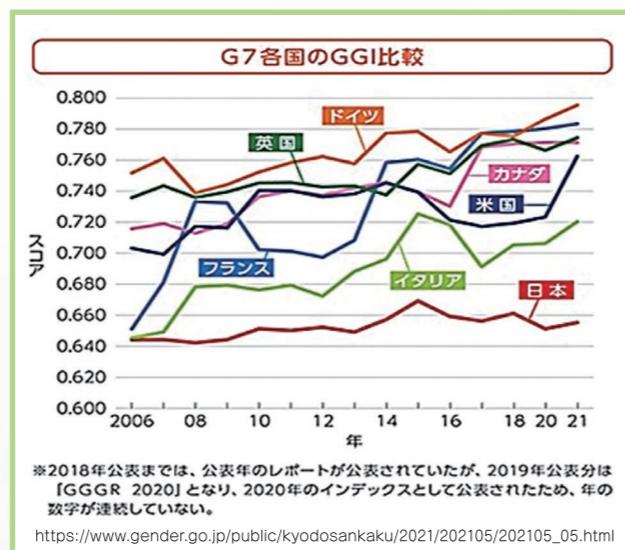


図3 G7各国のGGI比較

このような現状から「女性はステップアップを目指さない方が良い」としたら、そのこと自体が偏見である。ジェンダーの偏見により、家事や育児、介護は女性の仕事であるという社会の不文律があることにほかならない。

家庭ですり込まれるジェンダー意識

しかし、このジェンダー意識は、家庭ですり込まれるのではないだろうか。幼少時に「おまごと」で遊んだ人の大半は女性、「戦いっこ」をしていたのは男性ではないだろうか。男性なら、戦いで勝つことは望ましいとされ、女性は家事をやり表に出ないことが望ましいという社会が決めたジェンダーの役割を、幼少時から自然と学んできた。それは自分たちの両親の在り方を見て、自分と同性の親の立ち居振る舞いをスponジのように吸収してしまうからである(図4)。このよう大人から「らしさ」をすり込まれていく。

社会的な「らしさ」の少数派、例えば活発な女性は「女の子なのに」といわれ、メソメソする男性は「男のくせに」といわれるのには、すべてジェンダーによる偏見なのだ。このように子どもたちは、小さいときから同性の親をモデルとして取り入れる。このこと自体は有害ではないが、いずれジェンダー意識が固定観念となって根付くことになる。

セクシユアリティはどのように学ぶ?

- 乳児期
・親からジェンダーイデンティティ(性同一性)を学ぶ。
- 就学前
・男子、女子にとって適切な行動を学習する
・同性の親を同一視して模倣する。
- 就学後
・社会で容認される性的行動
・自分のセクシュアリティへの関心

図4 セクシュアリティはどのように学ぶ?

ジェンダー平等教育の必要性

人生が長くなるほど、ジェンダーの固定観念を崩せなくなってくる。そのため、子どもの時からジェンダー意識を変える教育が必要となる。長い人生を歩んできた人なら、根付いた意識を今更変えることはできないかもしれない。しかし少なくともジェンダーの偏見に気づくことはできる。

ジェンダーを理解することは、男女共同参画社会に貢献することに繋がる(図5)。

考えてみていただきたい。「男の料理教室」なども、裏返せば「料理を作るのは女性」という固定観念が反映している。また「女性議員」「男性看護師」など職業の上に男性、女性とつけることは、これまでその性別がその職業のマイノリティ(少数派)であったことを物語っている。これまで少数派であった背景にジェンダーの偏見がある。このような男女共同参画の視点から言えば、誰もがなりたい自分になるためには、ジェンダー平等教育と同じように導入することが必要ではないだろうか。

男女共同参画社会とは?

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」(男女共同参画社会基本法 第2条)

- ・男女が同じになることではない。
- ・男女が同じことをしなければならないわけではない。
- ・男女が性別を理由に、同じようにしたくてもできないのは不平等である。

図5 男女共同参画社会とは?

ジェンダー・バイアス チェックテスト

あなたはいくつチェックがつきましたか？

家族やパートナーはいくつチェックがつきましたか？

チェックがたくさん付いた方ほど、「男らしさ」「女はこうあるべき」といった偏見が強い傾向にあります。

無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に気づき、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事をみんなで一緒に決めていける社会にしたいですね。



☆めざせ、えるぼし☆



令和4年4月1日から、常時雇用する労働者101人以上の企業は、女性活躍に関する計画の策定、情報公表等が義務付けられます。

えるぼし・プラチナえるぼし



女性の活躍推進状況が優良で、基準を満たす企業が、厚生労働大臣から交付される認定マークです。

栃木労働局と連携し、市内の企業に向けて改正女性活躍推進法の説明会を開催しました。

開催日：令和3年6月1日(火) 会場：大田原市役所本庁舎1階 101市民協働ホール

募集中

ばらんす掲示板

令和3年度 大田原市男女共同参画推進事業者表彰

市では、積極的に男女共同参画推進に取り組んでいる事業者を募集し、表彰いたします。

募集期間

令和3年11月1日(月)～30日(火)

※対象や応募方法等の詳細は、広報11月号に掲載しています。

お問い合わせ先：政策推進課市民協働係 ☎23-8715



募集HP



令和2年度
受賞事業者

編集後記

ある70代の女性の話「女の子なんだから、食べたお皿くらい台所に下げなさい」と言ったたら「男なら下げなくてもいいの?」と大学1年の孫、「『女の子なんだから』が余計だったのかもね」と小6の孫。世代によってジェンダー意識が変化してきていると感じています。(記 藤沼)

編集委員
(五十音順)

荒牧 孝道 岩元 利孝
江馬 久美 藤沼 久子

国際医療福祉大学大学院助産学分野 鈴木 由美

問い合わせ

政策推進課市民協働係
☎23-8715